

番号	御意見の概要	御意見に対する考え方
1	大阪府の財政は火の車です。用意周到なフランスに任せて撤退してください。	2025年国際博覧会は、大阪府からの提案に基づいて、政府において検討しているものです。なお、大阪府議会において、「2025年の国際博覧会の大阪誘致の実現に向け、全力で取り組むこと」が決議されており、また、大阪府知事も参加した国際博覧会検討会において、「速やかに立候補することを期待する」という結論になっております。
2	遺伝子情報で婚活マッチングとか見たのですが、こんなものは病人や障害者への偏見を助長するだけだと思います。大阪での万博開催には反対します。	御指摘の内容は、本報告書案には含まれておりません。
3	<p>計案案には思いつきのような意見が散見されました。以下、報道内容から引用します。(引用元 https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20170313-00000051-mbsnews-bus_all)</p> <p>「万博婚。遺伝子データを活用したマッチングなど、新しい出会いを応援する」(パビリオン案「万博婚」) 展開事例として、実に挑戦的な案が並んでいました。ほかにも“Memento Mori(死を思え・ラテン語)”。人間が生を感じるのは死を身近に感じる瞬間が多いということで、“太陽の塔”ならぬ“天国の塔”からバンジージャンプするパビリオンです。 一方、パワードスーツに身を包んだ高齢者とたくましい肉体の若者が、ヒップホップなどのダンスで対決するというもの。」</p> <p>万博婚のネーミングがダサイのはおいておいて、まず、遺伝子データを用いたマッチングは倫理的に非常に問題があると思います。悪い冗談かと思いたいです、ディストピアSFにしか思えません。 次に、バンジージャンプですが、「飛び降り自殺体験」といったところでしょうか？『自殺大国日本』のパビリオンとして宣伝するということでしょうか？死を体験する、といっても、死への軽視というか、自殺問題を軽視しているか、全く念頭に置いていないんじゃないかと思います。端的に不謹慎ですね。 最後にパワードスーツでダンスバトルですが、まず、なぜそもそも「ヒップホップ」なのでしょう。ヒップホップはダンスの文脈でいくと、あくまで1つのジャンルに過ぎません。ロックは、ポップは？これらは検討されませんでしたか。 揚げ足取りのように思えたでしょうか。申し訳ありませんが、これらの案が吟味されて出たものにはどうしても思えないんですよ。世界は驚いてくれると思いますけどね。</p>	御指摘の内容は、本報告書案には含まれておりません。
4	<p>第1章 社会構造が古い為に新しく向上できる概略内容の案</p> <p>1. 「高度人材(知的労働者)」の確保について政策の提案があります。 (1) 「子育て支援の廃止」により、外国から「高度人材(知的労働者)」を優先させ、「移民や難民」を永住させる事が必要です。世界人口は「約70億人」で、日本人は世界人口に対して「約0.8パーセント」なので、世界人口が増加傾向にあります。「大学院修士号等とそれと同等の経験を持つ知的労働者」を優先し「年間約50万人程度」の人々が日本に永住すれば、活気ある日本社会になると思います。夫婦共働きの世帯が、増加した事で保育所等の待機児童が増えました。「子供の貧困」は「親の世代の貧困」であり、経済レベルの低い世帯の子孫が、高度な教育水準まで及ばないので、維持は不可能です。 (2) 「不妊治療の廃止」により、少子化を税金で補充する事が無駄です。約30才を越えれば「生殖機能の劣化」があります。文献書籍を読みましたが日本の江戸時代では、「一夫多妻制で農耕社会」を維持する為に子孫を残してきたので、貧乏人ほど子沢山でした。「少子高齢化」は良い事で人口減は、外国人で補えます。少子化対策を廃止し「移民省」を新たに創設すればグローバル的な規模で流動性が高められ、国家経済も恵まれる可能性が有ります。 (3) 人間が同じ場所に定住した原因は、「言語、文化、共同体」の存在です。今の科学文明の時代では、中間層が希望を持つ事が、経済成長のブレーキをかけています。外国人の「富裕層等(上流層)」が、日本に定住すれば経済の安定が望めます。日本国民の労働市場が外国人エリートに搾取されるので、日本国民は生活保護受給者として暮らせは良いです。 (4) 国民総動員と古い概念があり、「皆が頑張っているから頑張らないと申し訳ない」と申し訳ない等と言う連中が、社会成長の足を引っ張っています。「思い出作り(居場所作り)」を廃止し、社会構造のレベルを上げる事を優先的に考えて頂きたいです。未来は、「人口知能(AI)及び宇宙開発(スペースコロニー)」です。</p> <p>2. 科学技術の活用について政策の提案があります。 (1) ITクラウド技術による「自動車の自動運転走行」が可能になり、高度な科学進化が生まれています。我々が生きている世界では、ニュートン力学(10のプラス5乗秒程)で「因果関係及び相関関係」の法則と、遺伝学DNA(10のマイナス8乗秒程)での科学範囲でしかありません。宇宙には「物質的要素、生命的要素、情動的要素」があり、宇宙誕生は約138年前で、量子力学の観点化から「50対0と0対50の法則」での「ランダム論(偶然)と決定論(必然)」(10のマイナス36乗秒程)で生まれたと言われますし、人間が生きていく過程で複雑で矛盾点があるのは、地球を含む宇宙空間に量子力学が絡むからです。地球誕生は約46億年前で、1年(365日)を地球誕生約46億年に置き換えれば、人類誕生は約5万年前なので約3時間程度の経過しかしていません。 (2) 具体的には人類の科学の力で発展して来ている、「狩猟時代⇒農耕時代⇒産業時代⇒情報技術時代(IT)⇒人工知能時代(AI)⇒宇宙時代」と進んで来ましたが、「情報技術(IT)や人工知能(AI)」の活用で「1パーセント(才能人材)」が経済効果で促せると思います。 (3) 従来の構造では「80対20の法則」で「80パーセント(凡人人材)対20パーセント(優良人材)」が通過しましたが、今後は「99対1の法則」で「99パーセント(凡人人材)対1パーセント(才能人材)」が時代を到来します。科学情動的要素社会では1パーセント(才能人材)が重要視する、イノベーション(創造性)の時代です。 (4) 人類の進化をたどると、「チンパンジー(猿)と人間の違い」は約1パーセントしか違いませんが、知能指数(IQ)を人間の基準にしたら「約IQ100程(人間で約10才程度)」、チンパンジーは「約IQ50程(人間で5才程度)」しか違いがありません。人間は約10才を超えると知能指数(IQ)が伸びず、知識を詰め込むだけとなります。人工知能(AI)の活用で経済効果推進して頂きたいです。</p>	2025年国際博覧会が様々な社会的な課題に対する解決に向けて世界中から知恵を集める場になることを目指しておりますが、本報告書案は、開催国に立候補する判断を行うにあたって必要な事項について検討を行い、国際博覧会の基本的な方向性を示すものです。2025年国際博覧会における展示・イベントなどの具体的な内容については、いただいた御意見も参考にしながら、今後検討を行ってまいります。
5	<p>3. 教育内容の改正について政策の提案があります。 (1) 公立学校を維持していくことは税金の無駄なので廃止が望ましいですし、高校以上は私立学校に移行する方が最適です。ハイテク化が進む時代には応用力等の知恵が重視されますので「中学校卒業程度」が最適で、近未来は人工知能時代(AI)が言語性を補充してくれますし、「1パーセントの創造性」が重視されます。 (2) 例えば、デジタル的な「プログラミング教育」は無意味であり、近未来では自己学習し「プログラミング自動変換」が出来るからこそ「人工知能(AI)」です。大切な部分はアナログ的な部分で具体的に言えば、「社会心理学(哲学及び社会学)」等です。学術的には「物質、生命、情報」の統合が出来る、「情報(創造性)」の現在科学技術的市場に無いような部分が重点に置かれます。 (3) 情報技術化が進み社会が複雑化になっている時代に、「受動的トップダウン(教師から生徒)」の「左脳型詰め込み教育」に専念する労力が無駄であり、「能動的ボトムアップ(生徒から教師)」の「質疑応答し答えの無い事を探求」する、「右脳型創造性教育」が必要です。一般論では、知識がないと考えられないと言われますが、「知らない事は」自分で調べていく「多様性独学的教育」が必要です。私も教科書に記載されてない事を、自分から調べ独学で勉強する事の方が多いです。 (4) 「デジタル3ヶ月にアナログ3年」と言われますので、物理学では「理論物理学(テオリー)及び実験物理学(テスト)」の観点から、「機械的オペレーター的要素のある技術者教育」を目指すべきだと思います。文献科学書籍を読んだのですが「物理学(数学)及び生物学(医学)」等よりも、全体の構造を解析する「社会科学(哲学)」等の方が難しいと言われてます。教育を改革しようとするれば、既得権者の為に保守的な教師等が反発すると思われれます。</p> <p>4. 「官公庁及び財閥大企業」の縮小化で定数削減について政策の提案があります。 (1) 資本主義経済では場所や個人の能力によっては、「グローバリズム経済(国際経済)、国家規模経済(コモディティ)、ローカリズム経済(地方経済)」の3極化が存在します。資本主義発祥とは産業時代から始まり、消費を目的とし「土地、労働、生産」を基準としてきましたが、「情報技術時代(IT)や人工知能時代(AI)」を活用すればGDP(国内総生産)が、換算されない場合もあります。今の時代は資本主義フロンティアを拡大し「宇宙時代(スペースコロニー)」へと進んで行くことが望ましいです。 (2) 「大型旅客機と戦闘機」の違いを例えれば、「ローリスクローリターン」の大型旅客機は安定性あるがデメリットは急旋回が得意ではありません。「ハイスクリューライター」の戦闘機では急旋回は得意だがデメリットは安定性がない設計でスピードを上げる事でバランスを保ちます。要するに、今の時代は戦闘機の様の方針を変えたりして急旋回する時代なので、「官公庁や財閥企業」では時代に合わないからこそ小規模にする事が望ましいです。新しい分野を展開でき機動性に長けている、「科学的ベンチャー企業」等の方に期待して行くことです。 (3) 今はグローバル水準が国家水準を超えていて、「ホワイトカラー(知的労働)とブルーカラー(単純労働)」の領域がなく、今後は「グローバル的要素、専門的要素、事務的要素」が1人の人材に統一され「エキスパートエグゼクション制度(高度専門契約)」です。欧米では、総合職の新卒一括採用での、終身雇用の概念が無いです。「正社員(無期雇用)と非正規雇用(有期雇用)」の垣根が存在せず、正社員が「契約有期雇用」です。日本の雇用も「正社員制度を無くし契約有期雇用」にするべきです。 (4) 大衆の集団心理学では「コンプレックス、依存感、嫉妬心」を抱えていて、自分より下の人を探して保守的になりブレーキをかけてしまいます。逆に言えば「プライドが高い」人々であれば、「前へ」向かって国際社会の中で世界をリードしてもらいたいです。</p>	2025年国際博覧会が様々な社会的な課題に対する解決に向けて世界中から知恵を集める場になることを目指しておりますが、本報告書案は、開催国に立候補する判断を行うにあたって必要な事項について検討を行い、国際博覧会の基本的な方向性を示すものです。2025年国際博覧会における展示・イベントなどの具体的な内容については、いただいた御意見も参考にしながら、今後検討を行ってまいります。

<p>5. 「国民皆保険及び社会保険」の任意加入での医療経済について政策の提案があります。</p> <p>(1) 公立病院を維持していくことは税金の無駄なので廃止が望ましいですし、民営化に移行する方が最適です。公立病院の民営化で「生活保護受給者以外」を「国民皆保険(社会保険)を任意加入」にすれば、軽い症状では病院に行かなくなり効率が良くなります。例えば、「レントゲン写真を10枚程」を撮影し病状が判断できる医者や看護師より、「レントゲン写真を2枚程」を撮影し病状が判断できる医者や看護師の方が優秀です。今の保険強制加入制度では、「レントゲン写真を10枚程」を撮る様な、「能力が低い医者や看護師」の方が医療費を出すシステムです。薬剤師は薬局経営の為、処方箋以外の必要無い薬を進めてくるので販売人です。障害や傷病を抱えている、「生活保護制度(約20パーセント)」の医療保険を維持して、「医療民営化(約80パーセント)」を推進すれば、流動性が高くなります。</p> <p>(2) 文献書籍で読んだのですが、戦時中では医者が診る患者の優先順位は軽症患者優先ですので、重症患者などを診ても手遅れだからです。戦前の平均寿命は約50才程でしたが、戦後から平均寿命が延びましたから「一般庶民(中間層から下流層)」が、医療費を圧迫して「国民皆保険(社会保険)を任意加入」にすれば無駄が省けまし、先天的に健康な人だけが医療費が係り難いです。戦後の日本で平均寿命が延びた理由は、医療技術の進化と欧米からの肉食生活での栄養の向上です。</p> <p>(3) 財政利益の計算方式では、「税収収益－維持コスト＝財政利益」で、「維持コスト」が膨大に掛かり「財政利益」がマイナスになります。結論を言えば、「税収収益」を上げて「維持コスト」で圧迫するので、「財政利益」が全く出ません。約10年以上経過すると公立病院は老朽化し、「負の産物(不要物)」です。維持コストの方を重点的に考え、税金で補助している「公立病院」を減らすべきです。</p> <p>(4) 「富裕層等(上流層)」が優先して長生きできる社会ほど、医療の研究開発費が作れて医学の進歩にもなります。例えば、海外から医療目的で来る外国人向けに、日本の医療を自由診療でオープンにすれば、日本国の経済的に潤われます。医療を改革しようとするれば、既得権益の為に「能力の低い医者や看護師」等が反発すると思われます。</p> <p>6. 「集団的自衛権の行使」により経済効果について政策の提案があります。</p> <p>(1) 日本国が世界で活躍するには、国民の「生命と独立」を守る為に軍事力が必要で、国際社会の中で、法人や日本企業を世界で警護する為の国民主権の軍隊が必要です。率直に言えば「日本国憲法第9条を改正」し、世界中どこでも展開できる法人を救出できる国防軍ほど効率が良いです。</p> <p>(2) 日本の昭和初期の「徴兵制度(兵役義務)」は時代遅れですし、ハイテク化が進んだ今の時代には「殉職しない、負傷しない、装備品を離さない」ですので、複雑な任務には職業軍が最適で、戦争も経済発展の為のビジネスです。又、国際的な「民間軍事会社」等の活用が出来るかと思われまし、世界から日本国を情報分析できる「諜報機関」の設立も必要です。</p> <p>(3) 戦争には戦略があり、(ア)侵略権戦争とは本国が敵国に攻め込む事、(イ)自衛権戦争とは本国が敵国からの正当防衛で反撃する事、(ウ)代理権戦争とは本国が兵器を製造し「敵国と敵国」間に兵器を売買して内戦を起こさせ、最後は「敵国と敵国」の国力を消耗させる事での調停役です。独裁政治(軍国主義)によるプロパガンダ政策で政治マインドコントロールをやるのも代理権戦争の一つです。何時の時代でも兵器を売る国が、戦争ビジネスが回ると言う事です、「宣伝戦、起理戦、法律戦」からくる、国際情報が無ければ利用されます。事例では、「日清戦争から日露戦争」等は「英国」による代理戦争ですし、「日中戦争」等は「米国」による代理戦争です。戦争の起源とは農耕社会から始まりですし、氷河期時代の狩猟時代には戦争が無く、争っていると滅亡してしまうので、あまり争った形跡がない様です。</p> <p>(4) 要注意しなければいけないのが、第2次世界大戦の反省を踏まえ、「国民主権の国防軍」が望ましいです。事例を挙げれば、日本国は軍国主義(君主政治)の為に、1930年代ごろ国際連盟から脱退し経済制裁を入れられ行き詰まり開戦に至りました。もし、国民主権であれば戦争は約1年で終戦していたと思われます。</p>	<p>2025年国際博覧会が様々な社会的な課題に対する解決に向けて世界中から知恵を集める場になることを目指しておりますが、本報告書案は、開催国に立候補する判断を行うにあたって必要な事項について検討を行い、国際博覧会の基本的な方向性をお示しするものです。2025年国際博覧会における展示・イベントなどの具体的な内容については、いただいた御意見も参考にしながら、今後検討を行ってまいります。</p>
<p>第2章 教育内容の改正による具体案</p> <p>1. 「軍事教練及び組み立て体操」教育廃止について政策の提案があります。</p> <p>(1) 近未来は創造性社会なのに、「軍事教練及び組み立て体操」を実施すると、創造性の疎外になり得ます。例えば、「軍事教練及び組み立て体操」は教育以外の放課後クラブ活動の選択肢で行って下さい。朝礼の時は、生徒は統制が取れず整列できなくても良いです。「メタファー(抽象概念化から具体概念化)」を使うと、現場を知らない「旧日本軍大本営人事参謀」が富国強兵の徴兵制度の「即席教育(インスタント教育)」は廃止していく事です。歴史を読み解くと明治維新時に、旧日本陸軍は「フランス陸軍及びドイツ陸軍」形式で、旧日本海軍は、「イギリス海軍」形式で、欧州の軍事教育輸入品です。今の時代は統制を取る組織は、「職業軍人」だけで十分です。</p> <p>(2) 現場的な考え方であれば「戦時(有事)」と「平時(無時)」を完全に分ければ効率が良くなります。戦時には2つの「概念(コンセプト)」があります。(ア)「勇敢に戦う事」、(イ)「臆病にも地面に這いつくばって難を逃れる事」があり、勇敢に戦う教育は排除させるべきです。要約すれば、「臆病教育(墮落教育)」を行う事でも、戦時では英雄です。</p> <p>(3) 具体事例を挙げると、2つの「構造(メカニズム)」があり「戦時(有事)」という震災で津波が来た状況想定であれば、「(ア)統一された組織の中で一人の独裁者が判断ミスの為に組織が全滅する事」、(イ)「統制が取れていない組織では無秩序でバラバラであれば個々の力が強ければ生存確率は高くなる事」です。</p> <p>(4) 欧米型の教育は古いので、今の時代と矛盾点があります。疑問に持たない軍国主義の教育は弱いですし、思い出作りと考えている時代遅れな「軍事教練及び組み立て体操」を廃止して行くことです。目的に応じた教育で「グローバル」を先導していく「個の力を強くする教育」が必要です。私は、職業軍人ではないと言いたい張ればいいです。私の場合ですが、欧米社会が優れていて賢いとは思いません。</p> <p>2. 「教育の賞味期限を明記化する事」について政策の提案があります。</p> <p>(1) 現在の教育は「約30年後」は、役に立たない場合があるので賞味期限があります。教職員の事例を挙げれば、指導改善を要する教員に対する「指導改善研修」等がありますが、教職員を選別した「都道府県教育委員会(文部科学省)」側にも半分は監督責任があります。この様な場合は、教育の賞味期限なので教員免許を「約10年に一回程度の更新制」が望ましいです。教師側に対し賞味期限を設けなければ、教育に対し賞味期限を設けられないからです。例えば「医師(看護師)や弁護士」にも賞味期限があると思います。</p> <p>(2) 理解しやすい事例では、科学者の賞味期限の場合は「創造性」から論文を研究開発の段階で更新できずに、自分自信が賞味期限と思った時が期限切れです。「アーティスト(音楽家及び芸術家)」も「科学者(サイエンティスト)」と同じ状態が考慮されます。「スポーツ選手」等は体力の限界が賞味期限です。教育とは「失敗する事が当たり前」である事を、前提に入れておくことです。理由は誰も明確に「約30年後の未来を予測」する事が出来ないからです。</p> <p>(3) 我々人類の文明から科学技術を除外すれば、「チンパンジー(猿)」にも負けてしまひまし、科学が人類文明進化の鍵でした。教育の賞味期限の流れでは、「産業時代の学歴社会では言語詰め込み教育(左脳型)」から始まり「情報技術時代(IT)」ではコミュニケーション能力重視(左脳型)でした。今後の未来は「人工知能時代(AI)」では創造性重視(右脳型)です。具体的に「左脳型から右脳型」の社会構造に転換したという事で、「教育には賞味期限」があるという事が立証できます。</p> <p>(4) 世界には紛争等により、教育を受けられない人々がいて、「教育とは贅沢品」です。「国民側の為に個々の人生の選択肢を広げる」教育なのか、「国家側の為に作られた富国強兵(近代国家建設)」教育なのか、問われる時代です。今の時代に「人生の選択肢が不要な人」であれば教育等は必要ありませんが、そこまで極端な人間は存在しないと思います。</p>	<p>2025年国際博覧会が様々な社会的な課題に対する解決に向けて世界中から知恵を集める場になることを目指しておりますが、本報告書案は、開催国に立候補する判断を行うにあたって必要な事項について検討を行い、国際博覧会の基本的な方向性をお示しするものです。2025年国際博覧会における展示・イベントなどの具体的な内容については、いただいた御意見も参考にしながら、今後検討を行ってまいります。</p>
<p>3. 「生きる力を育む教育を廃止」しグローバル及びイノベーションを目標にした政策の提案があります。</p> <p>(1) 教育で生きる力を「主題(プリンパル)」にする事が、ハードルが高過ぎます。「グローバル(国際性)及びイノベーション(創造性)」を目標にした教育方針が望ましいです。「教育構成(コンストラクション)」は、「訓練的トレーニング教育(実用的)と教養的アカデミック教育(非実用的)」があります。「教育分類(カテゴリー)」は、「努力(エフォート)、秀才(アビリティ)、天才(ジェニ)」があります。「教育区分(バージョン)」は、「先祖教育(アンセスター)、公共教育(パブリック)、自己学習(セルフラーニング)」があります。</p> <p>(2) 教育構成は、「(ア)「義務教育期間(役に立つ)」では、「技能(タクテック)」を重視した、訓練的トレーニング教育が最適です。約10年で賞味期限が切れてしまひますが、常に時代に合わせ最新の教育に更新していく事が望ましいです。(イ)「非義務教育(役に立たない)」では、大学院以上の、教養的アカデミック教育が必要です。「戦略(ストラテジー)」は、「哲学(社会学)」から創造します。日常的な面では役に立たないですが、イノベーションを起す時に必要になります。人間の「今役に立つ事」は過去型ファースト思考であり、「今役に立たない事」は未来型スロー思考なので、総合的な教育では財政コストが膨大になります。</p> <p>(3) 教育分類は、約99パーセントの凡人と約1パーセントの天才で分かれます。基礎評価になるのは、「過程(プロセス)」が約50パーセントと「結果(リザルト)」約50パーセントです。ケースバイケースの教育評価を満たした方が良いです。努力だけで評価すると、結果が出せずに目標を失います。結果だけで評価すると、努力できずに目標を失います。</p> <p>(4) 教育区分は、時間を使い独学で学ぶ自己学習が良いのですが、人類の約50パーセントは勉強嫌いです。公共機関で「学校教育(スクール教育)」が主体になります。維持できない社会構造が存在し、教育を受けても保証が無いので、教育を具体化し目標を作るべきです。軍隊であれば生き抜く教育ですが、一般教育では「生存技術(サバイバルテクニク)」の教育訓練で捕捉する事が望ましいです。教育の主題を「生きる力」を廃止し、「世界で活躍する力」に変え現実的に考えるべきです。</p> <p>4. 「知能指数(IQ)」教育内容について政策の提案があります。</p> <p>(1) 先天的要素の「知能指数(IQ)」を基準とした教育を導入した方が効率が良いと思います。IQの計算式は「(精神年齢÷生活年齢)×100＝知能指数(IQ)」です。人類の平均IQは「IQ約100程(人間で約10才程度)」です。約18才をピークに流動性知能(右脳創造性)が下がり、結晶性知能(左脳言語性)が少々上がりますが、知識を詰め込むだけの万能感で錯覚しているだけで、脳細胞ニューロンネットワークは増えません。私の障害症状では、高機能自閉症右脳偏重型の区分別で、流動性知能(右脳創造性)が上がり、結晶性知能(左脳言語性)が下がる状態です。言語性の詰め込み教育は全く出来ませんでした。</p> <p>(2) 例えば、約10才位の児童が、「IQ約150ポイント」と存在しますが「全くは無く、実年齢が幼い」とIQが高くなります。計算式では、「(知的発達年齢15÷実年齢10才)×100＝IQ約150」となります。その児童が年齢を取り実年齢約20才の時点で、「精神年齢(知的発達年齢)」のキャパシティ要素を向上しなければ、IQは逆に下がりますので、「(知的発達年齢15÷実年齢20才)×100＝IQ約75」です。学校教育で幼児期に天才と思われた生徒が、中高年以上になり頑固に凝り固まる理由が、幼児期の早期成熟にあります。天才と言われる人間は、幼児期の時は学校の勉強が出来なかったと言われています。</p> <p>(3) 人類の様な知識集中型の生物は、未成熟度のレベルをあげ、「ネオテニー化(幼稚成熟)」を図ることで、知性を上げてきました。例えば、動物の「チンパンジー(猿)」は人間より早く成長する為、「IQ約50ポイント(人間で約5才程)」で、脳機能の成長が終わります。人間が実年齢約40才で「IQ約200ポイント」を目標にする場合は、未熟児で成長スピードを遅くする事です。進化論でIQを上げる為に突然変異する事は、今の人類構造では不可能だと思います。</p> <p>(4) 「思い出作り教育」の精神論は廃止し、「頑張るべき時に頑張り、墮落する時には墮落する」と言う、「ONとOFF」を付ける教育が望ましいです。江戸時代では、飯を食べることに全ての労力を注いでいた時代で、今の科学時代では「人工知能(AI)」が活躍しますので、中途半端な努力がマイナスです。</p>	<p>2025年国際博覧会が様々な社会的な課題に対する解決に向けて世界中から知恵を集める場になることを目指しておりますが、本報告書案は、開催国に立候補する判断を行うにあたって必要な事項について検討を行い、国際博覧会の基本的な方向性をお示しするものです。2025年国際博覧会における展示・イベントなどの具体的な内容については、いただいた御意見も参考にしながら、今後検討を行ってまいります。</p>

<p>5. 「グローバル化に伴い英語教育は英会話重視」について政策の提案があります。</p> <p>(1)現在の「英語教育」は、「読み書き(文法読解力)」が重点になっているので役に立たないです。例えば、外国人に「英語を話せますか」と聞かれ、「読み書きできます」とは答えないと思います。重要順序では「話す(スピーキング)、聞く(リスニング)、読む(リーディング)、書く(ライティング)」が基本となります。世界は貧困などで、就学率が低いので「筆記能力」が低いです。</p> <p>(2)「話す」にもテクニックがあり、「コンペーション(討論)」、「ディベート(質疑応答)」、「ネゴシエーション(交渉)」、「スピーチ(プレゼン)」等の能力を訓練するべきです。受験勉強では、「読み書き」重視で、英会話が身に付きません。グラマーテクニック(読解力)を使うと、話す力が弱まってしまからです。</p> <p>(3)話す内容は、「PREP法」が望ましいです。詳細では、「結論、理由、事例、結論」の事で、「ステューエーション(状況)」の組み合わせが出来ます。時間を一方向、「過去、現在、未来」と時間が流れています。「左脳は過去を分析して現在、右脳は未来を創造し現在」を見えています。詳細を言えば、「左脳は2次元(縦と横)」で、「右脳は4次元(縦と横と奥行きと時間及び場所)」を認識できます。言葉を作るにも、左脳と右脳では見ている次元(デメンション)が違います。</p> <p>(4)受験勉強に使う「読み書き重視のグラマーテクニック(文法学)」を使うのか、実用的な「話すテクニック」を身に付けるのかでかなり内容が異なります。国語の漢文を記憶する意味ですら無いですし、外来語は話す能力の方が難しいからです。イギリス英語は、「グラマーテクニック(文法学)」を重要視しているので読み書きを重視した、「貴族特権階級(ロイヤルブランド)」で、労働を目的としていません。一般庶民の約99パーセントが、イギリス英語を学んでも意味がないからです。実践を目的とした「話すテクニック」を重視した、「ネイティブスピーカー(ALT)」が良いと思います。</p> <p>9. 「グローバル化に伴い英会話で話す能力に哲学を盛り込む」について政策の提案があります。</p> <p>(1)学校教育における英会話で、「哲学的思想(フィロソフィー)」があれば、英単語は暗記する必要が無いです。例えば、科学的に「企画開発(フィロソフィー)、設計施行(ブリッジ)、製造技術(マニュアル)」の行程です。日本人の英会話能力は、「製造技術(マニュアル)」です。状況に応じた「即興性(アドリブ性)」で、「下手な英会話」でも会話するとは、現実的な企画開発能力にあり、哲学力を磨く事です。</p> <p>(2)「主体的に学習に取り組む態度」は廃止し、「伝えようとする熱意」を持つ事です。日本語の態度とは、「傾聴」の事を言っていると思います。日本人の常識的な態度は、外国人には伝わりません。例えば、「謙虚で控えめ」は日本人だけの文化です。日本人的「以心伝心」は、「理解して欲しい」と受け身な文化は、外国の文化に存在しません。</p> <p>(3)「平和で民主的」は廃止し、現実的な考えでは対立を招く事も致し方ないです。平和で民主的は、生物が生きて行く中で理想論であり、人間社会の中では存在しません。平和で民主的であれば、語学力の必要性が無いです。世界には、平和で民主的で無い国々が存在していて、世界の視点から日本を観察してもらいたいです。学術論文を否定しなければイノベーションが起きないので、対立を招いても良いです。</p> <p>(4)「日本人のアイデンティティ」は廃止し、「グローバル人材のアイデンティティ」を持つ事です。日本人のアイデンティティを持ってない連中が、アイデンティティを持ってと言っているだけです。日本人のアイデンティティとは、与えられるものでは軽すぎるので、「自我の成長」により、自分自身で創設する事です。</p> <p>(5)「道徳的心情」は廃止し、深い「倫理的心情(モラルフィロソフィー)」を培う事です。日本人の道徳とは節度です。学者等が利益だけを追求し、命令に従事する「機械人間」に成らない為に「倫理観」が必要です。「哲学的ビジネス英会話」位でないと使い物にならないので、「日常英会話」位では取り組むだけ無駄です。現在以外に、未来を創造できなければ成長しません。</p>	<p>2025年国際博覧会が様々な社会的な課題に対する解決に向けて世界中から知恵を集める場になることを目指しておりますが、本報告書案は、開催国に立候補する判断を行うにあたって必要な事項について検討を行い、国際博覧会の基本的な方向性をお示しするものです。2025年国際博覧会における展示・イベントなどの具体的な内容については、いただいた御意見も参考にしながら、今後検討を行ってまいります。</p>
<p>7. 「PDCA及びOODA」を廃止し「ワーキンググループ(研究開発)」の新設について政策の提案があります。</p> <p>(1)「PDCA及びOODA」戦略は、「計画及び観察」の段階で、失敗すると「実行、評価、改善(判断、決定、行動)」で、戻り直します。失敗した事を認識すれば良いのですが、システム開発の「入札(発注)から受入(試作)」は、納期近くには修正案が多くなり「改修(デバック)」する方法論しかないです。「計画」の部分で深慮するには、マネージメント運用を「ボトムアップ」にし「PREP(目的、理由、事例、結論)」の中に「因果関係と相関関係」及び「分散思考と収縮思考」等を使い、企画力を強化する事です。</p> <p>(2)行程とは、「垂直軸と水平軸」を考慮します。垂直軸の「上流工程の企画及び研究開発(論文)、中流工程の設計施行(小論文)、下流工程の製造技術(作文)」です。学術論文を書く方法は、「理論物理学(テオリー)と実験物理学(テスト)」の経過観察を、研究開発の結果内容を記入します。水平軸の「PDCA及びOODA」の発案者は、軍隊レベルの中流行程で、上流工程の学術論文まで辿り着きません。軍事戦略は、「準備と訓練」が整う場合で、臨機応変さを発揮できます。</p> <p>(3)設計施行する前に、研究開発で検証をする方が強度向上します。「0ベース設計」は、実績のない製品を最初から作る方法です。「ベンチ設計」は、過去の実績を性能比較しステップアップで作る方法です。理科学は文学と異なり、基礎ベースが強固で無いと、上に積み挙げても動きません。数学公式よりも、単純化した算数公式の方が良いです。ハード面は寸法でソフト面は制御です。設計図は「左脳の2次元(縦と横)」で、完成品は「右脳の4次元(縦と横と奥行きと時間及び場所)」です。</p> <p>(4)現代の軍隊では、「大隊(約1,000人規模)、中隊(約100人規模)、小隊(約20人規模)」から成ります。中流工程の大隊を送り込む前に、小隊規模の「情報偵察部隊(空挺特殊任務部隊)」等で、敵地の情報を分析します。企画部分の偵察任務が出来てない状態で、大隊を送り込む掃討作戦は失敗し、日本の戦国時代の消耗戦です。行政機関は、「上流工程から下流工程」のデータ解析する知識が無いと、運用管理が出来ないと思います。</p> <p>10. 8. 作戦レベルの「PDCA及びOODA」を廃止する内容について政策の提案があります。</p> <p>(1)軍事学ではカテゴリーがあり「戦略(ストラテジー)、作戦(オペレーション)、戦術(タクティク)、兵站(ロジスティク)」です。詳細は、「侵略戦争、自衛戦争、介入戦争」は戦略です。「宣伝戦、心理戦、法律戦」や「PDCA及びOODA」は、作戦です。「奇襲攻撃と奇襲防御」や「任務遂行と離脱遂行」は、戦術です。後方支援部隊の物資量は、兵站です。作戦レベルの「PDCA及びOODA」は、「戦車の対機甲戦、軍艦の対艦砲戦、戦闘機の対空襲撃」等の種類に最適ですが、歩兵等の機動性に富んだ動きをするのは不向きです。</p> <p>(2)戦略思考の色々なパターンがあります。(ア)「ベーシックプレーンストーミング」方法では、因果関係と相関関係から、長所が短所になり短所が長所になります。量質転化の法則から、分散思考と収縮施行から来る、演繹法と帰納法です。(イ)「リフレーミング」方法では、思考の枠に組み込まれた角度を変え、抽象的概念と具体的概念を使います。(ウ)「ハイステップストーミング」方法では、「A、B、C、D」の順序を飛ばし、Aの情報源からBとCを抜かして、Dに飛び級の思考です。少ない情報ベースから答えを導き出しますが、右脳創造性のIQ約150ポイント以上の天才しか使えません。</p> <p>(3)第二次世界大戦では、旧日本軍大本営は作戦を作れるが、戦略が当時の原因です。(ア)旧日本海軍は、戦艦大和の約4キロメートル上空に米軍戦闘機が待機し、直滑降に近い角度の約60度で奇襲攻撃をしました。戦艦大和の艦砲射撃砲の角度は約60度以上に達しない為に、一度も艦砲射撃が出来ない状態で約3時間後に撃沈しました。(イ)旧日本陸軍は、兵站の補給物資が足りずに戦闘に至らず、病死や餓死で壊滅しました。</p> <p>(4)戦略は「科学的社会心理学」にあり、哲学力が低いと練られないです。今後は科学の時代であり、上流工程から下流工程まで解析する事が望ましいです。教科書での兵法は古い戦略で芸術程度です。新しい戦略を組み立てる事が、今後の未来を向上させます。</p>	<p>2025年国際博覧会が様々な社会的な課題に対する解決に向けて世界中から知恵を集める場になることを目指しておりますが、本報告書案は、開催国に立候補する判断を行うにあたって必要な事項について検討を行い、国際博覧会の基本的な方向性をお示しするものです。2025年国際博覧会における展示・イベントなどの具体的な内容については、いただいた御意見も参考にしながら、今後検討を行ってまいります。</p>

<p>第3章 女性社会進出内容の改正による具体案</p> <p>1. 「女性活躍推進法の廃止」について政策の提案があります。</p> <p>(1)男女共同参画社会基本法は良いが、「女性活躍推進法」は、過重に女性を擁護する事で差別に当るので、廃止するべきです。男女平等なので、男性も女性も平等に競争し合う事が目的で、グローバル化の中の多様性と創造性の推進を阻害しています。「働く場面で活躍したい女性」や「個性と能力を十分に発揮できる社会にしたい女性」がいたら、能動的に女性自身の力で競争し場面を勝ち取る事が正論です。受動的な、与えられた居場所の「女性活躍推進法」で、自分の力で勝ち取らない限り、民主資本主義社会では成長経済にはなりません。</p> <p>(2)「女性活躍推進法」の目的は、管理職等の責任のある職種を選ばない女性が多い為です。行政側からの圧力で企業側に女性の求人数を増やす事は良いのですが、「職業能力の低い女性」の水準で雇用を支える必要性は無いです。企業側に無理して「職業能力の低いレベル」の採用を促せば、社会全体の構造が劣化し、女性の居場所しか確保できない人間が増えます。国際社会から見ると、日本国は女性の社会進出が遅れていると言われますが、女性自身の「能力と意欲」に問題があります。</p> <p>(3)年功序列制度を廃止しエキスパートエグゼクションを推進する事です。今はグローバル水準が国家水準を超えていて、「ホワイトカラー(知的労働)とブルーカラー(単純労働)」の領域が無く、今後は「グローバル的要素、専門的要素、事務的要素」が1人の人材に統一されます。欧米では、「正社員(無期雇用)と非正規雇用(有期雇用)」の垣根が無く、「正社員でも契約有期雇用」が支流ですので、日本の雇用も正社員制度を無くし「正社員でも契約有期雇用」にするべきです。</p> <p>(4)外国から「移民や難民」を永住させる事が必要です。世界人口は「約70億人程度」で、日本人口は世界人口に対して「約0.8パーセント」なので、世界人口が増加傾向にあります。「大学院修士号等とそれと同等の経験を持つ知的労働者」を優先し「年間約50万人程度」の人々が日本に永住すれば、活気ある日本社会になると思います。夫婦共働きの世帯が、増加した事で保育所等の待機児童が増えました。「子供の貧困」は「親の世代の貧困」であり、経済レベルの低い世帯の子孫が、高度な教育水準に達しません。</p> <p>2. 「女性活躍推進法の廃止」の詳細内容について政策の提案があります。</p> <p>(1)仕事と子育てを両立できる職場環境が整備する事は大切ですが、女性自身が自分で勝ち取らない限り、与えられた環境だけでは向上せず、社会構造が衰退します。女性自身が、政策を考慮し提案することが望ましいです。今の政策に、反論しない女性が多ければ、与えられた民主資本主義で、女性自身が成長しません。女性の事なのに女性自身が「他人様の様」に、終わらしている事が問題です。</p> <p>(2)女性の就業が進み、潜在的な力が発揮できるのであれば、国際的グローバル化の中で、既に発揮されていると思いますが否定的な状態です。現在進行形で、女性の職業能力が発揮できないのは、女性自身の潜在的能力が存在しないです。現在働いていない女性に目を向ければ、女性の就業が進まないのは、「職業能力のレベルが低い」ので、「アドバンテージ(有利性)」を与えても、女性から企業の運用管理状態に指摘ですら出来ません。政治的に女性の活躍という形で、企業側が「CSR(企業の社会的責任)」で「職業能力のレベルが低い基準」に女性就業率を、合わせてしまうと一時的には良いが、今後は社会全体が衰退していきます。</p> <p>(3)女性が活躍の場が広がり消費が増える経済効果は、未来進行系でも期待出来ません。例えば、女性が活躍する業務とは「単純労働(ルーチンワーク)」で、能力に限りがあります。女性が中心になる事務的労働では、今後は「人工知能(AI)」が代用できます。一部の出来る女性達は、既に「弱肉強食」の中で向上していると思います。</p> <p>(4)解決策では、女性の活躍により活気ある日本社会の実現に努めたいのであれば、国家水準を超える高いレベルの「グローバル及び創造的イノベーション」に向けた実用的教育を与えるべきです。職業訓練レベル教育を受けても、「気休め程度」で就業へとは結びつかず足を引っ張るので、無駄な事はしないでほしいです。現在のパソコン教育程度の職業レベルでは、女性の活躍により活気ある日本社会にはならないので、女性達が受け身ではなく、自ら勝ち取ってほしいです。</p>	<p>2025年国際博覧会が様々な社会的な課題に対する解決に向けて世界中から知恵を集める場になることを目指しておりますが、本報告書案は、開催国に立候補する判断を行うにあたって必要な事項について検討を行い、国際博覧会の基本的な方向性を示すものです。2025年国際博覧会における展示・イベントなどの具体的な内容については、いただいた御意見も参考にしながら、今後検討を行ってまいります。</p>
<p>第4章 外国人の移民及び難民の改正による具体案</p> <p>1. 外国人技能実習生制度の廃止「外国人高度人材制度の拡大」について政策の提案があります。</p> <p>(1)外国人技能実習制度は単純労働である為に廃止し「外国人知的労働者(外国人高度人材)」を積極的に受け入れるべきです。欧米諸国は労働力不足程度のもので、「単純労働者(ルーチンワーク)」を大量に移民で受け入れた結果では、「スラム街」した事例があります。出稼ぎ程度の単純労働者が定着する事で、仕事が無くなると他に選択肢が無い人材の為に、社会全体の質を下げてしまいます。グローバル化が国家水準を上回る状態ですので、日本国の移民政策は、失敗した欧米諸国を参考にしないで下さい。</p> <p>(2)高度人材を優先し「移民や難民」を永住させる事が必要です。世界人口は「約70億人程度」で、日本人口は世界人口に対して「約0.8パーセント」なので、世界人口が増加傾向にあります。「大学院修士号等とそれと同等の経験を持つ知的労働者(高度人材)」を優先し「年間約50万人」の人々が日本に永住すれば、活気ある日本社会になると思います。日本国独自の難点では、「質の高い知的労働者(高度人材)」を世界から、ヘッドハンティングしていく事が「至難の業」となります。</p> <p>(3)例えば、科学で説明すると「企画及び研究開発(フィロソフィー)、設計施行(ブリッジ)、製造技術(マニュアル)」の行程です。段階的内容では「企画及び研究開発は論文、設計施行は小論文、製造技術は作文」です。学術論文を書く方法は、「理論物理学(テオリー)と実験物理学(テスト)」の経過観察過程での、研究開発の結果内容を記入します。「技能実習生」程度で培った情報源で、感想を述べる作文程度の文章能力では、学術論文まで辿り着きません。</p> <p>(4)「職業や人材に貴賤が存在する」と言う事を、十分に考慮して頂きたいです。高度な科学的ベンチャー企業などは、優れた技能や知識を持つ多様な高度な人材しか活躍できない状態です。単純労働の外国人技能実習制度でしか雇えない企業が、能力レベルの低い「日本のブラック企業(違法労働企業)」の温床になります。「日本のブラック企業(違法労働企業)」を支える必要性もありません。未来は、「人工知能(AI)及び宇宙開発(スペースコロニー)」で、外国人高度人材の「質の高さ」で選ぶべきです。</p> <p>2. 労働市場の最低賃金で「最低時給単価約1,000円以上」に引き上げる政策の提案があります。</p> <p>(1)グローバル化及びイノベーションを加速する為に、労働市場の「最低時給約1,000円以上」が望ましいです。社会構造縦軸では、「上流層(グローバル)、中流層(国家水準)、下流層(ローカル)」です。社会構造横軸では、「中間層の左派(コムニズム)、右派(フェシズム)」です。今後は横軸の「中流層(国家水準)」では無く、縦軸の「上流層(グローバル)」を主力としたハイスペックが質的に向上します。社会構造横軸の「国民総活躍(中間層)」を掲げるから、生産性が下がります。</p> <p>(2)「グローバル化(国際化)」推進では、「外国人高度人材(知的労働者)」を導入する事で、「単純労働(ルーチンワーク)」を、減らす方向性が効率的に良いです。「外国人高度人材(知的労働者)」の子孫が日本国に定着する事が、国民の質を上げて行きます。例えば、「約99パーセントの凡人(普通)」が、「社会保障(生活保護)」で暮らして行けば、「約1パーセントの外国人高度人材(知的労働者)」の邪魔をしなくて済みます。</p> <p>(3)「イノベーション化(創造性)」推進では、「人工知能(AI)」を活性化する事で、人件費を機械の導入で補えば、効率が良くなります。「約99パーセントの凡人(普通)」を基準とせず、「約1パーセントの天才(才能)」を活用する事です。人類の構造の約99パーセントは左脳言語権力性で、約1パーセントは右脳創造性です。天才の領域は、右脳創造性なので、社会構造を変えて行く事です。</p> <p>(4)日本企業の生産性が悪い原因は、雇用形態に問題があり企業側に対して「エキスパートエグゼクション制度(高度専門契約)」の労働契約的な概念が無いからです。例えば、欧米には「正社員(終身雇用や無期雇用)」が存在し無いです。海外では「総合職(正規雇用)」が無く、「有期雇用(契約社員)」が通常の労働契約です。日本の戦国時代でも「終身雇用や無期雇用」が存在しません。「最低時給単価約1,000円以上」を上げる事により、機械化が推進され生産性が上がります。「アルバイトやパート」等は、企業側が不用意に雇えなくなり「日本のブラック企業(違法労働企業)」が減っていきます。</p>	<p>2025年国際博覧会が様々な社会的な課題に対する解決に向けて世界中から知恵を集める場になることを目指しておりますが、本報告書案は、開催国に立候補する判断を行うにあたって必要な事項について検討を行い、国際博覧会の基本的な方向性を示すものです。2025年国際博覧会における展示・イベントなどの具体的な内容については、いただいた御意見も参考にしながら、今後検討を行ってまいります。</p>

<p>3. 発展途上国に対しての「政府開発援助 (ODA)」の廃止について政策の提案があります。</p> <p>(1)「政府開発援助 (ODA)」で、「発展途上国 (開発途上国)」を支援しても、「教育や医療」等に行きつく前に、効力を発揮できて無いので廃止するべきです。「学校や病院」等の施設を作ったとしても、内戦等で行き届きません。例えば、アフリカ諸国は「餓死」の危機にあり、雇用の方を必要としています。解決策では、日本の「起業家 (経営者)」が、現地に行き発展途上国の雇用増大で、貢献させれば良いだけです。</p> <p>(2)「政府開発援助 (ODA)」を支援している日本国以外の先進国は、領土面積が大きい大国であり、介入戦争により発展途上国の資源を奪う為の戦略です。小国である日本国の規模では、国際規模の集団的自衛権を行使する方が効率性に良いです。例えば、日本国の様な資源の無い国は、長期的な効果を発揮しません。日本の戦後での高度経済成長は、発展途上国の介入戦争により日本の国の利益になりました。</p> <p>(3)「政府開発援助 (ODA)」により発展途上国の現地インフラを整備しても維持管理していく為の、人材や設備が現地に無い理由が2段階に存在します。(ア)発展途上国は「国家統治から民主主義」に移行できず、独裁政権下の国が多い事が挙げられます。発展途上国の国家統治から始めないと、「政府開発援助 (ODA)」の効果が出ません。(イ)発展途上国の国民性に問題があり、「温厚で衝動的」な国民性なので、未来を考えた計画を立てれ無いのが状態です。植民地化された国民性が知性を阻害され、独裁政権にコントロールされて来た事が原因だと考えられます。奴隷国家の国民とは、「哲学 (社会心理学)」を与えられてこなかったからです。</p> <p>(4)「積極的平和主義」で、アジア諸国を中心に実施したと思われるが、「政府開発援助 (ODA)」を介入戦争に使われ、発展途上国の内戦悪化の恐れがあります。「貧困が紛争の温床になっている」と言いますが、発展途上国の貧困が原因では無く、欧米諸国による介入戦争が原因です。介入戦争に使われない為に、「政府開発援助 (ODA)」を廃止していく事が望ましいです。</p> <p>4. 「職業能力開発訓練」を廃止する政策の提案があります。</p> <p>(1)職業訓練を受けても、未来の就業先が見つかりませんので税金の無駄です。出来る人材は、時代に合わない職業訓練等を受けなくても、既に活躍できるポテンシャルが有ると考えられます。未来は、「人工知能 (AI)」なのに対し、職業能力開発の事業に必要な項目が多すぎます。</p> <p>(2)既存的要素は、「染色、ニット製品製造、婦人子供服製造、紳士服製造、和裁、寝具製作、帆布製品製造、布は縫製、機械木工、木型製作、家具製作、建具製作、紙器・段ボール箱製造」等は、「能力 (キャパシティ)」ですので職業訓練が必要無いです。</p> <p>(3)実績的要素は、「さく井、金属溶解、金属熱処理、粉末冶金、放電加工、金型製作、鉄工、建築板金、アルミニウム陽極酸化処理、溶射、金属ばね製造、ロープ加工、仕上げ、切削工具研削、ダイカスト、機械検査、パン製造、パン製造、菓子製造、製麺、ハム・ソーセージ・ベーコン製造、水産練り製品製造、配管、枠組壁建築」等は、「成果 (リザルト)」ですので職業訓練が必要無いです。</p> <p>(4)経験的要素「電子回路接続、電子機器組立て、電気機器組立て、半導体製品製造、プリント配線板製造、自動販売機調整、産業車両整備、鉄道車両製造・整備、光学機器製造、テクニカルイラストレーション、機械・プラント製図、電気製図、化学分析」等は、「経歴 (キャリア)」ですので職業訓練が必要無いです。</p> <p>(5)職人的要素は、「園芸装飾、造園、鍛造、左官、みそ製造、酒造、畳製作、時計修理、金属プレス加工、機械加工、工場板金、めっき、建築大工、とび」等は、「才能 (センス)」ですので職業訓練が必要無いです。</p> <p>(6)職員が場所等の天下り幹旋を防止する為に、廃止するべきです。職業能力開発で培った能力で、「何が出来る (CAN-DO)」と思考するべきですし、仕事には貴賤があるという事です。「造園、左官工、寿司職人、日本料理の板前、フランス料理のシェフ」は、才能で自分の腕に自信がなければ、訓練を受けても無駄です。職人とは世界共通であり、師匠の背中を見て覚えると言う理由は、職人氣質の才能を教えられる物ではないからです。江戸時代の日本でも、「士農工商」の世襲制度だからこそ、子供の頃から師匠の背中を見てきた成果が出たのです。</p>	<p>2025年国際博覧会が様々な社会的な課題に対する解決に向けて世界中から知恵を集める場になることを目指しておりますが、本報告書案は、開催国に立候補する判断を行うにあたって必要な事項について検討を行い、国際博覧会の基本的な方向性をお示しするものです。2025年国際博覧会における展示・イベントなどの具体的な内容については、いただいた御意見も参考にしながら、今後検討を行ってまいります。</p>
<p>14. 第5章 生活水準の基準値詳細案</p> <p>1. マズローの6段階欲求による科学的根拠の生活水準について政策の提案があります。</p> <p>(1)人間の今後の課題は欲求のコントロールにあります。「小脳 (脳幹)」には、動物的脳では古い脳と言われ、本能をつかさどります。「中脳 (大脳辺縁系)」には、海馬 (記憶) と扁桃体 (感情) の情動反応での「喜・怒・哀・楽」や「快・不快」があり、側坐核は依存感 (報酬系) です。「大脳 (大脳新皮質)」には、人間的脳では新しい脳と言われ、理性を制御しています。</p> <p>(2)ワーキングメモリーの「前頭葉 (体性感覚認識)、頭頂葉 (体性感覚認識)、側頭葉 (時間認識)、後頭葉 (視覚及び聴覚認識)」等の機能があり、知性とは「前頭葉 (判断認識)、左脳 (言語認識)、右脳 (空間認識)」です。女性脳は「右脳と左脳」を繋ぐ脳梁が大きいのでバランスが良くマルチタスク機能で、男性脳は脳梁が小さいので右脳と左脳の偏重型区分の偏りが激しいです。左脳は過去を分析し言語で思考を行い、右脳は未来を創造し現在を認識します。小脳運動機能欲求では、1段階は生理的欲求 (食欲、睡眠欲、排泄物欲)、2段階は安全欲求大脳精神機能欲求です。大脳精神欲求では、3段階は存在欲求 (社会欲求)、4段階は自尊欲求、5段階は自己実現欲求、6段階は自我超越欲求です。</p> <p>(3)区分脳が出来た要因は、1日の平均摂取カロリーは3食を維持して、約3,000キロカロリーで、頭脳で使うエネルギーは約40パーセントで、人体で使うエネルギーは約60パーセントの消費です。人間の脳は約10パーセントしか機能していないと言われていました。摂取カロリーを増やすと、肝機能不全から糖尿病になり、高血圧では「脳卒中や心筋梗塞」が増加します。極端に摂取カロリーを減らすと低血圧のなり、中高年以降に癌等の病気になるやすいです。人体の構造上では、摂取カロリー増やさずに脳構造全体を動かす事が出来ないの、省エネを図る為に天才と言われる区分脳が出来ました。</p> <p>(4)「健康で文化的な生活水準」とは社会欲求以上の状態を目指す重要性があります。人間として文化的な水準を保ち生き続けるには、「衣・食・住・安全」以上の経済的要素が十分に必要です。例えば、江戸時代と今の時代では時代によって「健康で文化的な生活水準」が異なります。健康を維持し、新しい知識や教養を身に付け孤立を無くすには、経済的要素の向上を配慮する事が社会成長に繋がります。</p> <p>2. 「健康増進法 (受動喫煙防止)」を廃止の政策の提案があります。</p> <p>(1)「タバコ (煙草)」の禁煙は無意味であり、タバコの喫煙よりも、自動車や工場からの排出された「窒素酸化物 (NOx)」が有害です。光化学スモッグとは、「高濃度の光化学オキシダント (Ox)」です。西日本では、特に大陸から来る「微小粒子状物質 (PM2.5)」の方が有害で、微小なので人間の肺気管に入り込みやすいです。例えば、五感で認識できない様な、眼に見えない状態に有害物が多いので、風邪等のウイルスやPM2.5は、衛生用マスクを着けても無駄です。「埃 (ほこり)」が多い場所は、衛生用マスクを着けた方が効果的です。日本の第2次世界対戦時の広島と長崎での放射線内部被爆では、「3世代 (1世代20年)」以上の子孫は存続できないと言われていました。東日本では、震災時の原発事故で放射線内部被爆している場合があるのに、タバコ禁煙政策は無意味です。</p> <p>(2)無駄な政策を立てると、法案の維持コストで「デフレ (円高)」になります。「インフレ (円安)」にしたかったら、高齢者が普段元気で「ピンピンポックリ (早期他界)」してくれれば、医療費の負担がありません。私は長生きしたいですが、タバコを吸わせて人類が早期世界すれば効率が良いです。タバコは「タールの部分」が有害物質ですが、自律神経系から「ドーパミン (男性ホルモン等のテストステロン)」の状態が維持されている男性には良く、1日約10本程度の少量であれば、ニコチンを摂取すると「オキシトシン (女性ホルモン等のエストロゲン)」が出て、精神状態が安定していきます。</p> <p>(3)日本国は高度経済成長時には、工場のコンビナートから排出された汚染により、四日市喘息等の事例があります。人類は自動車の排気ガスで健康被害を受けているのに対し、反知性主義者の連中が衝動的にタバコの煙は有害であると、何の科学的根拠も無い情報を「発信 (センター)」し、「受信 (レシーバー)」した反知性主義者の連中も何の科学的根拠も無い情報が全てが正しいと思っています。「健康増進法 (受動喫煙防止)」で、今さらどうしたのと言いたいです。余りにも衝動的でレベルが低すぎるので、説明する自信が無いです。</p>	<p>2025年国際博覧会が様々な社会的な課題に対する解決に向けて世界中から知恵を集める場になることを目指しておりますが、本報告書案は、開催国に立候補する判断を行うにあたって必要な事項について検討を行い、国際博覧会の基本的な方向性をお示しするものです。2025年国際博覧会における展示・イベントなどの具体的な内容については、いただいた御意見も参考にしながら、今後検討を行ってまいります。</p>

<p>「イノベーション及びグローバル」の構造について政策の提案があります。</p> <p>(1) 水平思考の「ファースト思考(デジタル)」からイノベーションは起きません。理数系離れが問題ではなく、「哲学(社会科学)」離れです。垂直思考の「スロー思考(アナログ)」からイノベーションを起こします。「水平思考のファースト思考」と「垂直思考のスロー思考」の違いで、イノベーションの目指す方向性が異なります。「感情指数(EQ)」を上げても、衝動的で知性が上がらないので無意味です。EQが必要とされる時代は、天候に影響する農耕時代で、現在は科学の時代です。経済は人間の「感情(衝動)」で向上させているので、知性的である「高度文明(ポリティク)と科学技術(テクノロジー)」を目標にすれば、経済力は必然的に落ちてしまいます。</p> <p>(2) 「知能指数(IQ)」が基準となり、「言語性及び創造性の入力(インプット)」から、知性を「前頭葉処理能力の出力(アウトプット)」します。(ア)秀才の構造は、「入力領域IQ約100ポイント」の情報量を「集約(インテグレーション)」させて、「出力領域IQ約150ポイント」で情報を「拡張(エックステンション)」して処理的能力が高いので、過去型ファースト思考です。(イ)天才の構造は、「入力領域IQ約150ポイント」の情報量を「拡張(エックステンション)」させて、「出力領域IQ約100ポイント」で情報を「集約(インテグレーション)」して創造的能力が高いので、未来型スロー思考です。</p> <p>(3) ハイステップストーミングの仕組みでは、「A、B、C、D」の順序を飛ばし、「A」の情報源から「BとC」を抜かして、「D」に飛び級の思考です。直感等の「第六感(スピリチャル)」を使ったのでは無く、「A」をIQ約100ポイント状態だとすると、最初からIQ約150ポイントの入力で「D」を認識できる能力の状態です。</p> <p>(4) 秀才の脳区分では、前頭葉型の「注意欠陥及び多動性障害(ADHD)」と、左脳型の「言語性権力(アスペルガー症候群)」を特性とし、言語に対する情報が多すぎて悲観的になります。天才の脳区分では、右脳型の「創造性多様力(高機能自閉症)」を特性とし、創造性に対する情報が入り過ぎて「ミラーニューロン(真似)」の機能が弱く、オリジナリティを追求して悲観的になります。</p> <p>(5) ADHDは、情報処理能力が高いので、「アナウンサー、外国語翻訳、アスリート、企業家、政治家」等が向いています。アスペルガー症候群は、言語力が高いので「弁護士、医者、外国語通訳、アーティスト、ミュージシャン」等が向いています。高機能自閉症は、創造力が高いので、「科学者」等が向いています。言語性は、「2次元(縦と横)」で、創造性は「4次元(縦と横と奥行きと時間及び場所)」を認識しますので、イノベーションは4次元で増幅させます。2次元の言語力は、数学や文法読解を解読する分野なので、4次元の創造力を使えば、数学や文法読解が出来ない事が当然です。</p> <p>(6) 科学技術の進化により、人類の平均IQ約100ポイントの限界を迎えてきた事が、イノベーションにスピードが無くなった要因です。科学技術が人類のマンパワーを超えてきたので、先進国等は成長しなくなりました。人類の経済成長率は日本の江戸時代でも、マイナス約0.3パーセントが普通であり、欧米を含めた先進国で日本の戦後に起きた高度経済成長は、プラス約10パーセントであり人類史上では初めての出来事です。生物進化論では「チンパンジー(猿)」から人類に突然変異する時間は、「約400万年」を費やし、約1パーセントの構造の違いでは、IQを約50ポイント上げた程度です。人類の生物進化論に合わせ、地球環境が待たないです。「人口知能(AI)」等の科学技術が人類の領域を超える事しか方法論が無いです。天才の「区分脳(セパレートタスク)」での入力領域を、IQ約150ポイントに上げれば効果的ですが、今の人類構造では未来への存続が不可能だと思います。</p>	<p>2025年国際博覧会が様々な社会的な課題に対する解決に向けて世界中から知恵を集める場になることを目指しておりますが、本報告書案は、開催国に立候補する判断を行うにあたって必要な事項について検討を行い、国際博覧会の基本的な方向性をお示しするものです。2025年国際博覧会における展示・イベントなどの具体的な内容については、いただいた御意見も参考にしながら、今後検討を行ってまいります。</p>
<p>「障害者差別」について政策の提案があります。</p> <p>(1) 私が障害者の立場から意見を言います。私の障害名は「高機能自閉症広汎性発達障害(右脳創造性偏重型)」です。私の状態ですが、「無職(生活保護受給者)」で就労不可です。「障害者から人類構造」を全体の両面から、見れば認識ができます。</p> <p>(2) 「障害(傷病)」を理由として、施設等の運用での利用不可の基準的な考えでは、「安全の確保」の部分です。パニックを起こすと、「安全の確保」に対応しなければなりません。「障害(傷病)」の場合は、安全の確保に運用費用が掛かります。</p> <p>(3) 解決案としては、人類に寛容性があれば良いのですが、今の人類の構造上では不可能です。「障害者差別」は解決できない問題だと考えています。「行政機関」が、安全コストを負担し、「障害者(傷病者)」を守れば解決する問題です。デメリットでは、解決しようと思えば、「安全の確保」に対応する、行政コストの方が掛かります。</p> <p>(4) 私の障害の場合では、労働市場でも「創造的破壊(スクラップビルドアップ)」が起き、「企業側(組織側)」が拒絶するので、無職の状態です。才能的な約1パーセントの創造性を出したとしても、凡人の約99パーセントに、天才的な要素を理解でき無いです。創造的破壊により、凡人の約99パーセントの、既得権益が崩れる要因です。</p> <p>(5) 天才は「こだわり」が強いのでは無く、「集中力」が凄いです。要約すれば、健康者の習慣的な「マルチタスク(均等脳)」より、高い能力の才能的な「セパレートタスク(区分脳)」であれば、「天才も障害者」という事です。創造的破壊に対応できる人類構造であれば、天才の能力が受け入れられると思います。</p>	<p>2025年国際博覧会が様々な社会的な課題に対する解決に向けて世界中から知恵を集める場になることを目指しておりますが、本報告書案は、開催国に立候補する判断を行うにあたって必要な事項について検討を行い、国際博覧会の基本的な方向性をお示しするものです。2025年国際博覧会における展示・イベントなどの具体的な内容については、いただいた御意見も参考にしながら、今後検討を行ってまいります。</p>
<p>下記の部分に代表されるように 根拠のある数字にもとづかない試算であり大きな負債を残す可能性が高い インフラ設置型万博という時代遅れの発想に基づくものであり 実施する必要は無い</p> <p>p. 26 2025年国際博覧会の入場者想定規模は約2,800万人～3,000万人と想定する 根拠が不明である</p> <p>p. 34 会場総額は約1,250億円程度を想定 検討の結果として会場建設費に新たな費用が発生する可能性もあるが、できる限り上振れしないよう費用の効率化を徹底することが必要である。</p> <p>とあるが、具体的な抑制策もない</p> <p>さらに</p> <p>財源は、過去日本で開催された国際博覧会の例から、国、自治体、民間からの拠出(現物を含む)等が考えられるが、それにとどまらず、民間投資を呼び込むアイデアなど、新たな財源確保手法の検討が必要である。 のように極めて不十分な検討内容である</p>	<p>入場者想定規模については、本報告書案に記載しているとおり、①建設面積、投資額、周辺人口圏、会期日数をもとに過去の国際博覧会の実績を踏まえ、国内からの来場需要を予測するとともに、②訪日外国人の増加傾向を踏まえた上で、訪日外国人が他のテーマパーク等に訪れる割合を参考に、海外からの来場需要を予測しております。会場建設費等については、過去の国際博覧会の実績等を踏まえ、①現場制約条件及びこれまでの検証結果を加味した適正規模の検証や②単価に含まれる施設、項目の確認等を行っております。具体的な費用効率化の方策や財源確保手法については、2025日本万国博覧会誘致委員会等と協議しながら検討してまいります。</p>
<p>3ヶ月余りという短い期間にも関わらず集中的に審議し、基本理念、テーマをまとめられたことに敬意を表する。</p> <p>報告書案が示した基本理念およびテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」は、環境・食糧問題・格差など人類が直面する課題に対し、関西・大阪が有するポテンシャルを最大限に活かしつつ、解決策の提示を目指すものであり、万博の意義を体現するテーマとして相応しいと考える。また、本テーマに沿って万博が開催されれば、「Society5.0」を含め、わが国が推進する「持続可能な社会・経済システム」を広く世界に発信することにもつながることが、高く評価したい。</p> <p>今後、世界的なイノベーションの加速とソリューションの提供に資する方策について検討し、基本理念・テーマを実感できる万博を実現する上では、「Society5.0」を促進することが、その役割を十分に果たすと考える。報告書案で掲げた基本理念とサブテーマを深掘りし、各国にとって魅力あるものとするため、今回の万博を「世界における『Society5.0』の実験場」と位置づけることも検討すべきである。</p>	<p>本報告書案のP5において、本国際博覧会を「世界における未来社会の実験場」にすることが記載されております。同P10において、「未来社会」の1つの例として、「Society5.0」を取り上げさせていただきました。</p>
<p>廃棄物で海を埋め立ててつくった夢洲で博覧会をすることは危険であり反対(南海トラフ巨大地震に関して、大阪府防災会議や大阪市が夢洲の地盤は津波の届かない高さであり、液状化しにくい地盤であると断言している。しかし、この主張は科学的でも説得力あるものでもなく、信じることはできない。夢洲は廃棄物によって海を埋め立ててつくられたものである。また、大阪湾には「大阪湾岸断層帯」(活断層)が走っている。国際博覧会開催中又は、博覧会後の観光施設に大勢の人々がいる時に巨大地震、大津波が襲う可能性は否定出来ないし、そのときは人々が避難することは極めて困難である。このような危険な場所での大イベントはするべきではない。場所に反対。)</p>	<p>国の中央防災会議がまとめた南海トラフ巨大地震の想定震度分布や津波高さ等の推計をもとに、平成25年に大阪府防災会議が、被害シミュレーションを実施し、その結果、「夢洲(ゆめしま)」の地盤の高さ(想定津波高さより4.3m高い)であれば、満潮時でも津波は届かないという評価であったと認識しております。また、大阪市は、粘性土を主成分とする土砂で埋め立てを進めているため、液状化しにくい地盤になっているものと認識しております。</p>

<p>会場整備や跡地利用に関して、「夢洲まちづくり構想(案)」に準拠した記述が多く見られるが、この構想はまだ大阪市民による意見募集を経ておらず、パブリックコメントの意義を軽視しているのではないかという印象を持った。国際博覧会の開催には地域住民の協力が欠かせないのだから、この点は非常に残念だ。</p> <p>また、この報告書では触れられていないが、「夢洲まちづくり構想(案)」の中心にはカジノを核とした統合型リゾート(IR)が据えられており、関連法案の整備がいつ完了するのか、誘致が成功するかどうか、といった不確定要素が多く、場合によっては整備費用の高騰につながりかねない。</p> <p>なお、2月に朝日新聞社・朝日放送が大阪府民を対象におこなった世論調査では、IR誘致への「反対」が60%で「賛成」の31%を上回ったとのこと。地域住民の望まない施設とセットにされた万博では、協力する気になれるはずもない。</p> <p>20 報告書では、方向性として「誰もが参画しやすい万博」が掲げられているが、これにも疑問が残る。経産省HPに掲載されていた第3回国際博覧会検討会の配布資料から、どう考えても人権・倫理上の問題がある「inochi学生プロジェクト」の提案を取り入れた展開事例集が削除されたのは記憶に新しい。多くのメディアで取り上げられた「関西弁バージョンの報告書」問題とあわせて、「多様性を守りつつも問題を取り除く」バランス感覚をもった運営が本当にできるのか不安である。</p> <p>お役所の押しつけに近い形で動き出した万博など止めてほしい、というのが本音だが、もし本当にやるのなら…</p> <ul style="list-style-type: none"> 経費が計画より高騰した場合は、国が責任をもって負担することを前もって明示する 思想的に問題のある「inochi学生プロジェクト」は万博に関わらせない <p>くらいのことはしてほしいものである。</p>	<p>「夢洲まちづくり構想(案)」は案の段階ではございますが、跡地全体の利用計画との連携をしっかりと行っていくという趣旨で、取り上げました。夢洲地域でIRが設置されるかは何ら決まっていないため、本報告書案では、夢洲地域でのIR構想を前提とせず、国際博覧会のみについて検討しております。</p> <p>会場建設費については、2025日本万国博覧会誘致委員会等とも議論しながら、できる限り上振れしないよう費用の効率化を徹底してまいります。</p> <p>検討会では複数の委員から、若者の意見を取り入れるべきとの意見が出ております。引き続き様々な御意見を参考に検討してまいりたいと考えております。</p>
<p>21 第1部における本博覧会のサブテーマ(案)には「多様で心身ともに健康な生き方」がある。ところで、日本では成人人口の約5%もの人々がギャンブル依存症に苦しんでいるといわれている。ギャンブル依存症の人たちは「心身ともに健康な生き方」をしているとはいえない。2016年12月に「カジノ解禁法」が成立したが、私はカジノはギャンブルだと思う。カジノ推進派の人々はカジノとはいわず「IR(統合型リゾート)」であると主張する。該当箇所において気になる文言が二つある。一つ目は、夢洲まちづくり構想(案)でSMART RESORT CITYを夢洲のコンセプトとしている点。二つ目はカジノに付属する施設につけられる「MICE施設」という名称が記載されている点である。サブテーマ(案)「心身ともに健康な生き方」と、リゾート+カジノ導入<ギャンブル依存症の増加>とは矛盾している。この矛盾を解消するために「MICE施設」という文言の削除を提案する。</p>	<p>「MICE」は企業等の会議、企業等の行う報奨・研修旅行、国際機関・団体、学会等が行う国際会議、展示会・見本市、イベントを指しており、カジノを含むものではありません。</p>
<p>22</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3ページの18行目「病氣」と、8ページの5行目「病」との文言の違いは何を意味しているのですか？ ・3ページの最下行から上に2行目「1人1人」は、「一人一人」か「ひとりひとり」と記載すべきところと思います。 ・6ページの丸数字2のウの3行目「発祥地。新たな」は、「発祥地であり、新たな」のほうが理解が容易になると思います。 ・7ページの丸数字2のイの2行目「促進。」は、「促進する。」とか「促進できる」などと、結論を明示的に記載すべきです。 ・8ページの13行目等の「つながる」と、14ページの丸数字5の2行目「繋げる」との文言の違いは何を意味しているのですか？ ・13ページの27行目「愛知万博」、14ページの最終行「2005年国際博覧会(愛知)」、16ページの11行目「2005年の愛知万博」、16ページの表1の名称欄の「2005年日本国際博覧会」、27ページの6行目「愛知博」、35ページの「愛知博」については、名称の統一を図るべきです。(16ページの9行目「1970年の大阪万博」、16ページの表1の名称欄の「日本万国博覧会」についても同様) ・16ページの6行目「極めて多くの国・国際機関・来場者が実現」は文意が不明です。(「極めて多くの参加国・機関数、来場者数が実現」が文意か?) ・19ページの17行目「外国観光客」は、他のページと同様に「訪日外国人」と記載したほうが適当です。ビジネスが来日目的の人々も含まれるべきと思われるので。 ・20ページの4行目「地域。」は、「地域である。」と結論を明示的に記載すべきです。 ・21ページの「丸数字5地震対策」は、記載内容が地震による津波に限定されていますが、地震動そのものに対する対策についての検討が抜けていると思います。 ・21ページの7行目「平成」については、他のページと同様に西暦の記載(or併記)が望まれます。(23ページの参考1、参考2の右欄についても同様) ・22ページの所要時間:「関西国際空港から」、「奈良(東大寺)」の移動手段は何ですか？ 	<p>3ページの18行目「病氣」と、8ページの5行目「病」は、意味の違いを意図するものではないため、「病」に統一致しました。3ページの最下行から上に2行目「1人1人」は、「一人一人」に修正いたしました。</p> <p>6ページの丸数字2のウの3行目「発祥地。新たな」は、「発祥地であり、新たな」に修正いたしました。</p> <p>7ページの丸数字2のイの2行目「を促進。」は、「が促進される。」に修正いたしました。</p> <p>14ページの「繋げる」を「つなげる」に修正いたしました。</p> <p>表については正式名称の「2005年日本国際博覧会」「日本万国博覧会」と標記し、その他については「愛知万博」「1970年の大阪万博」という略称に統一致しました。</p> <p>なお、「大阪万博」については2025年国際博覧会との混同を避けるため「1970年の」を記載しております。</p> <p>16ページの6行目「極めて多くの国・国際機関・来場者が実現」は、「極めて多くの参加・交流が実現」に修正いたしました。</p> <p>19ページの17行目「外国観光客」は、「訪日外国人」に修正いたしました。</p> <p>20ページの4行目「地域。」は、「地域である。」に修正しました。</p> <p>今後、詳細な検討を行うにあたって、地震動に対する検討も行っていく予定です。</p> <p>暦については、西暦で統一致しました。</p> <p>関西国際空港から、奈良(東大寺)の移動手段は車等を想定しております。</p>
<p>23</p> <p>意見・情報受付開始日 2017年03月17日で、</p> <p>意見・情報受付締切日 2017年03月31日なので、</p> <p>意見提出が30日未満だと思うのですが、その理由が記載されていないように見受けられました。</p>	<p>行政手続法に基づくパブリックコメントは理由の記載が求められますが、本件は任意のパブリックコメントであるため、理由の記載は求められておりません。</p>

<p>「2025年国際博覧会検討会報告書(案)」を拝見させていただきました。</p> <p>「2025年国際博覧会検討会報告書(案)」に関する意見募集とのことですので、ご無礼を顧みずに素人ながら意見をさせていただきます。</p> <p>まず開催期間ですが、この期間だと夏を挟むことになっております。大阪の夏はかなり熱いので、熱さ対策に万全を期すべきかと思われます。そこで暑さ対策につきまして、一般から意見を公募することを提案します。これは命がかかっていますのでおろそかにすることはできません。</p> <p>輸送宿泊対策につきましてですが、関西人は運転マナーが悪い地域だと思われる。駐車場は余らせるくらいでないと、大混乱は目に見えています。そこで提案なのですが、メガフロートを設置して、駐車場にあててみるべきだと思います。万博終了後は海外なり、どこかの地方自治体に空港設備として下げ渡すべきだと思います。海上輸送対策につきましても、臨時で浮桟橋を設置すべきかと提案します。万博終了時にはどこかの地方自治体に下げ渡すべきかと思います。</p> <p>宿泊につきましては、東京オリンピックでも宿泊施設が足りないのでも客船をホテルとして転用する構想が持ち上がっています。それに便乗して万博でも客船をホテルとして転用すべきだと提案します。万博終了時には災害時に避難所として活用するとの条件で、カジノ船に転用すべきかと思います。あと一般の空き家を民泊に活用すべしと提案しておられるようですが、それは止めるべきかと思います。間違いないトラブルた多発して取捨がつかなくなると思います。民泊を活用するのであれば、田舎の廃校もしくは平成の合併で余った自治体施設を業者さん向けに一括で貸し出すべきだと思います。</p> <p>24 廃棄物対策につきましては、徹底分別をうたっていますが、外国人も多く来られるので不可能だと思います。廃棄物に関しましては、燃えるごみと燃えないゴミの二種類だけに絞りまして、それと並行して施設内では預り金制度を施行すべきだと提案します。何もわからない人は勝手にゴミ箱に捨てろ、協力できる奴だけ預かりに金制度に協力しろと割り切るべきだと思います。なおペットボトル等を投入するとお金もしくは金券が出てくるタイプの回収機を開発すれば効果が倍増すると思います。それと休日のSAIにありがちなのですが、ゴミ箱がゴミであふれかえる事態を避けるためにゴミの回収の自動化、ロボット化を推し進めるべきかと思います。</p> <p>それと浮体式のごみの焼却炉を設置すべきかと提案します。万博終了時には希望する自治体に下げ渡すべきかと思います。</p> <p>再生エネルギーに関しては、今の技術では電力の貯蔵の問題を解決しない限り話にならないので手を出さないのが賢明だと思います。電力貯蔵と燃料電池だけに的を絞るべきだと思います。</p> <p>この季節は確実に台風がやってくると思いますので、災害時における外国人対策は万全を期す必要があります。そこでタッチパネル式の自動翻訳装置の実用化に向けて努力すると同時に、各国大使館と通訳ができるようにホットラインを設けるべきかと提案します。</p> <p>外国人対策といましては、今でも病院代を踏み倒すと問題になっていますので、入国税・出国税を日本人・外国人を問わず取り立てて、強制的に保険に加入させるべきだと思います。</p> <p>最後に財源対策ですが、クラウドファンディングを活用すべきかと思います。具体的には利息として、前払いで2%相当分の大阪府限定で使える商品券を払うタイプの特別債券、もう一つ、万博期間中に万博施設内限定で使えるまえ払いで3%相当分の商品券を払うタイプの特別債券を発行すべきだと提案します。あと万博を盛り上げるために、財源対策を一般公募してみてもいいと思います。</p>	<p>今後具体的な計画の策定にあたっては、いただいた御意見も参考にしながら、検討してまいります。なお、夢洲地域でカジノを含むIRが設置されるかは何ら決まっていないため、本報告書案では、夢洲地域でのIR構想を前提とせず、国際博覧会のみについて検討しております。</p>
<p>以下、「2025年国際博覧会検討会報告書(案)」に対して意見を行う。</p> <p>大時代は終わった。</p> <p>その認識が無い様では、困る。大時代的な行為を行う事が、先端としたのであれば、それは失当甚だしいものである、この事は念頭においていただきたい。そうすれば、そもそのコンセプトからして変わってくるはずである。(その見直しをしたくないがために、故意に大阪を選んだ向きもあると見られるものである。元々の関西の人間には迷惑な部分が多くあろう。そういう所を含めて、経済産業省の心根は悪と見る。)</p> <p>P3下部</p> <p>>小さな力を結集し と書いてあるが、日本の経済産業省は、インドの個人を小さい呼びたいのか？中国でもあるまいし、その様な事をして欲しくはないのであるが(経済産業省に中国系の者が多かったとしてなおである。)、よって「一人一人の力を結集し」としていただきたい。(わざとやった？であれば邪魔なのでさっさと職を辞されたい。日本国民はその様な不法・不適切な人間を国家公務員として求めていない。)</p> <p>P4中部</p> <p>>人類は～求めるようになった。 勝手に人類という枠でくくっていただきたい。であるので、「国際博覧会には～求められるようになった。」という書き方は許可出来るとしても、この書き方は却下である。</p> <p>25 (日本語のレベルがお粗末過ぎると思わないのか？官僚として失当したレベルにあるであろう。わざとやった？であればさっさと職を辞されたい。貴省は近年ゲス化が著しい様であるが、当然、その様な者は人として求められない(生体兵器的存在としては話は別かもしれないが。))</p> <p>P5中部以降</p> <p>まさか、これらの事を自己主張すると言うのか？毀損著しい状況であると言うのに。日本人であるならば、恥は知っていたいただきたい。(なお、既に明らかとなっているが、貴省らは関西人をバカにしたのである。その結果は背負われない。)</p> <p>P6中部</p> <p>上部同様であるが、その関西の人間を、貴省はバカにした事は自覚されたい。 なお、一応、阪神大震災後の復興をアピールする意義については認めてもよい。</p> <p>P6下部</p> <p>ラグビーを出した事で、貴省のこのプロジェクトに関わる人間のお里が知れたようなものであるが、そんなもの、捨てられたい。不要である。なお、これを世界にアピールする事は、恥と思っていたいただきたい。</p> <p>なお、多数の無礼を働く貴省(この文書にも、相当の無礼が存在する。貴省はそれを意識しつつやっているであろうが、どうしようもない人間性を持つ者が多過ぎると見る。どこの人間であろうか？大体にして仰々しいであろう、この文書は。日本人、いや、真っ当な社会人の書いたものとは思えない。)が「日本への理解・信頼を向上できる」などとは、もう日本国民は思うまい。 次投稿に続く</p>	<p>いずれの記事も有識者、経済界、地元自治体等で構成する2025年国際博覧会検討会での議論を踏まえて記載しております。なお、P3の「小さな力」について、御指摘の意図はなく、「大きな変化」との対比で「小さな」と表現しております。</p>
<p>受付番号 201703310000415788の続きの投稿を行う。</p> <p>P32普通に、企業展示会的なものでよからうと考える。</p> <p>日本各地の洋上風力発電や水素貯蔵システムの燃料電池から超電導送電によって送電された電力を使用している事を、風車を示しながら行っても良いであろう。これは、おそらく、2025年においてはそれなりに普通の事であると考え、過去からの発電と送電の歴史を紹介しつつ、進歩と効率化について説明して、自然エネルギーによる大規模発電の進展について説明を行うのであれば、それなりの意義があると考える。</p> <p>太陽光発電については、当方としては、ほぼ全てのパネルの発電効率が50%程度になっていなければ、先端と認めないのであるが(といっても、これは2000年代には出て来ていた技術ではある。)、ただ太陽光発電パネルを並べただけ、という様な展示は恥であるので止められたい。そういうのは、アホの見本である。</p> <p>他の発電設備については、発電効率及び生産性が低いものは、国の愚かさを示すだけであるので、展示を行っていただきたいと考える。不適切なものを存在させる事が悪であり、効率が悪く、環境にも良くない、というのが基本的なコンセンサスとなっているのが適切であるはずであるが、これに反するものを万博において存在させる事は恥であるので、止められたい。日本国民が、適材適所すら出来ない愚かな民である事を示したい向きも経済産業省内にはあると見るのであるが(既にこのプロジェクトにおいては経済産業省という政府機関が不適切な省庁である事を世に示す事は成功しているであろう)、国民としてはそれは拒否する。</p> <p>P34東京オリンピックというふざけたイベントのために、金銭感覚が麻痺している面もあるのであるが(これは当方もである)、建設費等について、600億円程度にならないのであろうか。どうも、建設業界に対する出費が大きい値となっている様に見えるのであるが、建設業界は効率化がかなりなされている業界であって、当方は、この半額程度の見積りでも何とかするのはないかと考える。</p> <p>おそらく2023年頃から設置が始まるであろうが、おそらくその頃には現在の建替需要もやや落ち着き、相場もそれ程高くない状況となっているのではないかと考える。1000億円を切る予算で再考していただきたいと思う。</p> <p>P35事業費が大き過ぎる気がするのであるが、いかがか。この半額、1/3にすべきではなからうか。細かい内訳まではここに書かれていないのであるが、何にここまで費用が費やされる事になるのか分からない。</p> <p>P36道路改良はともかく、鉄道整備はこの半額以下にしていいただきたい。</p> <p>おそらく、地盤勢力を巻き込むためのバラ撒きであると察されるのであるが、それは不適切な行政行為であると考え、</p> <p>P37おそらく、期待しすぎの値である。大阪万博に神通力は無い。</p> <p>インバウンドよりはあるであろうが、もしこの様な効果があったとしても、それはおそらく、各種助成金によってそう仕立て上げるだけのマッチポンプによる結果に過ぎないであろうと考える。</p> <p>大体、もう少し、その明細について提示してもらわなければ、国民としては意見しかねるのである。</p> <p>大雑把過ぎる簡単予想図を示されて、はいそうですか、と納得する事は望ましくないであろうが、貴省がパブリックコメントで求めているのはそれである。ある程度の明細は示していただかなくては困る。</p> <p>意見は以上である。</p>	<p>・P32に対する御意見について、2025年国際博覧会における展示・イベントなどの具体的な内容については、いただいた御意見も参考にしながら、今後検討を行ってまいります。</p> <p>・P34について、今後具体的な計画の策定にあたっては、国際博覧会として適正な規模・質としつつ、費用の観点から効率性を追求してまいります。</p> <p>・P35について、運営費は、警備員、清掃員、アテンダント要員等の人件費などの事業運営費や管理費、広告宣伝費などを想定した上で、過去の国際博覧会の実績をもとに試算しております。</p> <p>・P36について、鉄道整備は地元自治体等を中心に検討してまいります。</p>

私たちは夢洲万博に反対します。反対の理由は以下のとおりです。

第1点、松井大阪府知事、吉村大阪市長がかねて公言するように、大阪府市民の多数が反対しているカジノ付きIRを準備するための計画だからです。大阪の維新首長は、府・市民の反対世論にかかわらず、長年夢洲にカジノを誘致し建設する活動をしてきました。そして、万博と並行して夢洲カジノを実現すると述べています。これでは万博は、ギャンブル依存症など弊害の多いカジノ建設に役立つ、「病毒事業」に寄与することになってしまいます。

第2点、カジノ・IR目的を内包した万博立候補は、公衆の教養を主たる目的とする万博条約に反するからです。今回、「いのち輝く未来社会デザイン」というテーマが急遽発表されましたが、これは本音や目的を隠した不実のものです。

第3点、形ばかりのテーマ「いのち輝く未来社会デザイン」には内実がありません。この1月まで「人類の健康・長寿への挑戦」と言っていたのを、言葉だけ変えて独り歩きさせています。これでは「嘘も方便」を許してしまいます。

第4点、廃棄物も含め埋立中の夢洲は、主催者だけでなく万博来場者にとっても危険な場所です。東南海大地震での震災・津波などが警告されていますが、安易な安心感を振りまくだけで適切な対応策はありません。

第5点、万博のための財政支出は、大阪府・市財政の健全性を損なうからです。万博は、現在財政に困窮する大阪府・市が多大な投資をしても、それに見合う確実な収益を得られるものではありません。結局、誘致に成功しようとするか否かを問わず万博のためにするという公共投資で、住民不在の埋立地へゼネコン本位のインフラ投資です。海外カジノ資本が日本人の財力を収奪するためのIRカジノ建設を手助けしようとするものです。府・市民の福祉実現という正しい未来のためになされる公共投資ではありません。

第6点、夢洲にはかねて関西経済同友会が大々的なIRリゾート化を提言していました。しかし、関西財界はIRリゾート実現の資力もなかったのです。そこで万博誘致によって政府や自治体の金を引き出すという構想が生まれました。府・市民の夢洲カジノ反対の声を、万博によって「洗脳」しようとの邪心もあります。

第7点、経産省報告案は、入場者を2800～3000万人、会場建設費を約1250億円、入場料収入で賄う運営費は800～830億円、鉄道整備や追加埋立等関連事業費730億円としています。これによると、入場料で運営費を賄えたとしても、残りの2000億円は捻出できません。府・市・経済界が3分の1ずつ拠出するという案もあるようですが、府・市ともに700億円を出すような正当な財源はありません。府も市も財源不足で、東南海大地震への対策も決められず、少子高齢化社会での福祉のための負担で厳しい現状です。文化事業としても、半年の展覧会のためにかかる大金を支出するような余裕はありません。また民間資金というも700億円もの献金を集める手立てもできていません。万博の建設運営で金を儲けられる企業が狩りに100社あっても、1社平均7億円もの寄付を求められるわけがありません。私企業から700億円にも及ぶ寄付資金を任意に集められるという想定そのものが無責任です。

第8点、万博による全国への波及効果が1.9兆円との試算が出されました。しかし、その根拠は不明且つ課題な期待値に過ぎません。夢洲万博という一つの開発事業が全国に公平・平等に恩恵を波及する訳でもありません。むしろ、マイナスの波及効果もあるのに、それは想定に含まれていません。万博客で半年間の運営は賄えても、その後は利用客はありません。

以上、夢洲万博計画は、廃棄物による埋立進行中の空き地を利用して企業経済に生かしたという企業の論理と思惑だけが先行しているものです。日本の政治と財政は、第1に東日本大震災と福島原発の被害に対する対応が不十分です。大阪・夢洲をはじめ防災への対応ができていません。第2に大阪府と市、そして経済団体をリードする経団連や関経連のリーダーである電力企業はその足元から経営危機を抱えています。万博を誘致するような余裕はありません。

世界的視野でみても、現在既に立候補しているノリをはじめ、夢洲いや日本よりも万博開催にふさわしい地区があります。ただ万博をカジノを含むIRリゾートにつなげ転用するというのは、未来社会への展望を欠くものです。

このような計画は、大阪府・市の適正な財務運営からみても無駄遣いとなり、このまま無謀なカジノ万博計画を進めるとなると、裁判など法的にも問われることになると思われます。

政府も府・市も、より国民と府・市民の福祉本位の事業と財政を考えるべきです。

第1点、第2点、第5点、第6点について、夢洲地域でカジノを含むIRが設置されるかは何ら決まっていないため、本報告書案では、夢洲地域でのIR構想を前提とせず、国際博覧会のみについて検討しております。

第3点について、「人類の健康・長寿への挑戦」というテーマを掲げる「2025日本万国博覧会基本構想(府案)」を昨年11月に大阪府が取りまとめたことを受け、昨年12月より2025年国際博覧会検討会において議論を行い、「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマが提案されております。

第4点について、国の中央防災会議がまとめた南トラフ巨大地震の想定震度分布や津波高さ等の推計をもとに、平成25年に大阪府防災会議が、被害シミュレーションを実施したところ、夢洲の地盤(想定津波高さより4.3m高い。)は満潮時でも津波が届かない高さとなっております。また、大阪市が、粘性土を主成分とする土砂で埋め立てを進めているため、夢洲は液状化しにくい地盤となっております。

第7点について、会場建設費は、地元自治体及び経済界の方々とも協議させていただき、国、地元自治体、経済界から拠出することを想定しておりますが、民間投資を呼び込むアイデアなど、新たな財源確保手法を含め今後検討してまいります。また、運営費は入場料等の開催主体の自己財源によりまかなうこと、鉄道整備や追加埋立等関連事業費は地元自治体を中心に検討していくこととしております。なお、2025年国際博覧会は、大阪府からの提案に基づいて、政府において検討しているものです。大阪府議会において、「2025年の国際博覧会の大阪誘致の実現に向け、全力で取り組むこと」が決議されており、また、大阪府知事、大阪市長も参加した国際博覧会検討会において、「速やかに立候補することを期待する」という結論になっております。

第8点について、産業連関表をもとに、2025年国際博覧会における建設費、運営費、消費支出の全国への経済波及効果を試算しております。